

株式会社イナテック、平成23年度永井科学技術財団「技術賞」受賞

・永井科学技術財団賞とは

永井科学技術財団とは、新東工業株式会社元会長の故永井嘉吉氏が、昭和58年、素形材産業の発展と躍進のため、学術研究に功績のあった愛知県下の研究者や学術研究団体への顕彰と研究助成金の贈呈を目的に、社会奉仕と報恩感謝の精神で私財を投じ設立されたものである。

同財団は、愛知県下の素形材に関する試験研究や関連産業を研究する研究者、学術機関を表彰している。

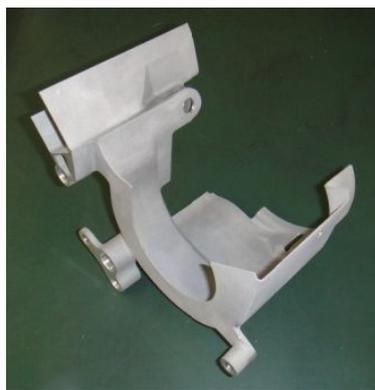
・永井科学技術財団「技術賞」受賞内容

レクサスLFAのトランスミッションに搭載されているオイルセパレータは、一般肉厚1.5mmと一般の砂型鋳造では製作不可能とされている厚さであり、また内蔵物とのクリアランスは約1mmと狭いため、一般の砂型鋳造以上のダイカスト並みの高精度が要求されていたが、当社はその製作を実現することができた。

その結果、当社の軽合金のダイカスト並み高精度薄肉砂型鋳造技術が評価され、受賞に至った。



レクサスLFA



オイルセパレータ

イナテックの技術レベル

項目	従来の砂型鋳造	イナテック精密砂型鋳造
肉厚	2.5mm	1.5mm
寸法精度	CT9 (±1.0mm)	CT6 (±0.3mm)
鋳肌	50S	25S
試作品リードタイム	6週間	3週間

永井科学技術財団賞

今年度贈呈
11件を決定

【名古屋】永井科学技術財団（永井淳理事長、新東工業社長）は、2011年度の「永井科学技術財団賞」11件の贈呈先と国際交流助成金2件の交付先を決め、6日に名古屋市内で授与した。同財団は素材材に関する試験研究や関連産業を研究する研究者、学術機関を表彰している。83年度から10年度までに計343件に贈呈した。11年度の受賞者、助成金交付先は次の通り。

【財団賞学術賞】▽園山範之名古屋工業大学大学院工学研究科准教授▽長谷川正名古屋大学大学院工学研究科教授▽古谷克司豊田工業大学工学部教授▽松田厚範豊橋技術科学大学院工学研究

科教授▽松本章宏産業技術総合研究所サステナブルマテリアル研究部門研究グループ長▽丸山隆浩名城大学理工学部材料機能工学科教授

【同技術賞】▽稻垣良次イナテック社長、新實忠智同製造部責任者▽酒井敏康コンドーセイコー取締役技術部長

【同奨励賞】▽奥原芳樹ファイナセラミックスセンター材料技術研究所エレクトロマテリアル部ユニットリーダー主任研究員▽藤田真哉名古屋大学院経済学研究科准教授

【同共同研究奨励金】▽マグネシウム合金の強度特性改善研究会（主宰者）斎藤尚文産業技術総合研究所サステナブルマテリアル研究部門研究グループ長

【国際交流助成金】▽伊藤淳一名古屋大学工学研究科助教▽前野智美豊橋技術科学大学院工学研究科助手

3月7日 日刊工業新聞



受賞のときの写真



表彰の盾を持つ稲垣社長（右）、新實製造部部長（左）